

# 今年度は7月現在で 受胎率 73%にも 家畜診療所の授精卵移植事業

NOSA―東南部家畜診療所では、授精卵移植（以下ET）事業を実施しています。ETに使用する受精卵には、「体内受精卵」と「体外受精卵」があり、通常は両親が判明した前者で移植事業を実施しております。その過去6年間の実績は表のとおりです。

## 七月現在で、 受胎率7割超に

年々移植頭数、採卵頭数及び移植成功割合も上昇中で、平成十八年度は57%となりました。さらに、今年度は新鮮卵（100%）と凍結卵（67%）を併せて、7月現在で受胎率73%になっており、岩手県下はもちろん、全国でもトップの成功率を誇ります。

## 今年度は、 体外受精卵移植も

また今年度は後者の体外受精卵の移植事業も手がけております。これは乳肉連携技術確立実証事業といまして、

遠野市内の酪農家で組織する遠野体外受精卵産子組合（菊池加正組合長）が主体となり、家畜改良事業団で供給している黒毛和種体外受精卵を活用し、販売付加価値の高い子牛生産を目的とするもので、平成十九年四月から十月までの半年間で50頭の移植、30頭の子牛生産（受胎率60%）を目標とするものです。

## 移植経費の半分を助成 （遠野市）

当NOSA―家畜診療所も移植団体に指定されており、七月十三日現在の移植頭数



採卵する金田獣医師

は16頭、妊娠鑑定済みの牛9頭、その内6頭の受胎が確認（66・7%）されています。移植経費として、受精卵代二万二千六百元、移植代二万円がかかりますが、移植経費の1/2（上限二万円）を遠野市が助成します。

このように当NOSA―家畜診療所のETチーム（チーム長・金田義之、副チーム長・高橋博愛、チーム員・佐藤千陽とその他の獣医師）は、日ごと・月ごとに益々その技術レベルをアップさせながら、管内畜産農家の皆さまに県下一のET技術を提供しています。



移植する高橋人工授精師

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	計
新鮮卵 受胎率	0/0 0%	9/19 47%	11/18 61%	7/9 78%	15/20 75%	3/3 100%	42/66 64%
凍結卵 受胎率	2/5 40%	6/24 25%	22/49 45%	15/41 37%	23/47 49%	8/12 67%	68/166 41%
計	2/5 40%	15/43 35%	33/67 49%	22/50 44%	38/67 57%	11/15 73%	110/232 47%